

佐賀県畜産の概要



令和 6 年 7 月

佐賀県農林水産部畜産課

さが畜産GO×2プロジェクトとは、

県と農業団体等が一体となって課題解決に取り組み、
さが畜産のロールモデルとなる畜産農家と産地の創出を
目指すプロジェクトです。

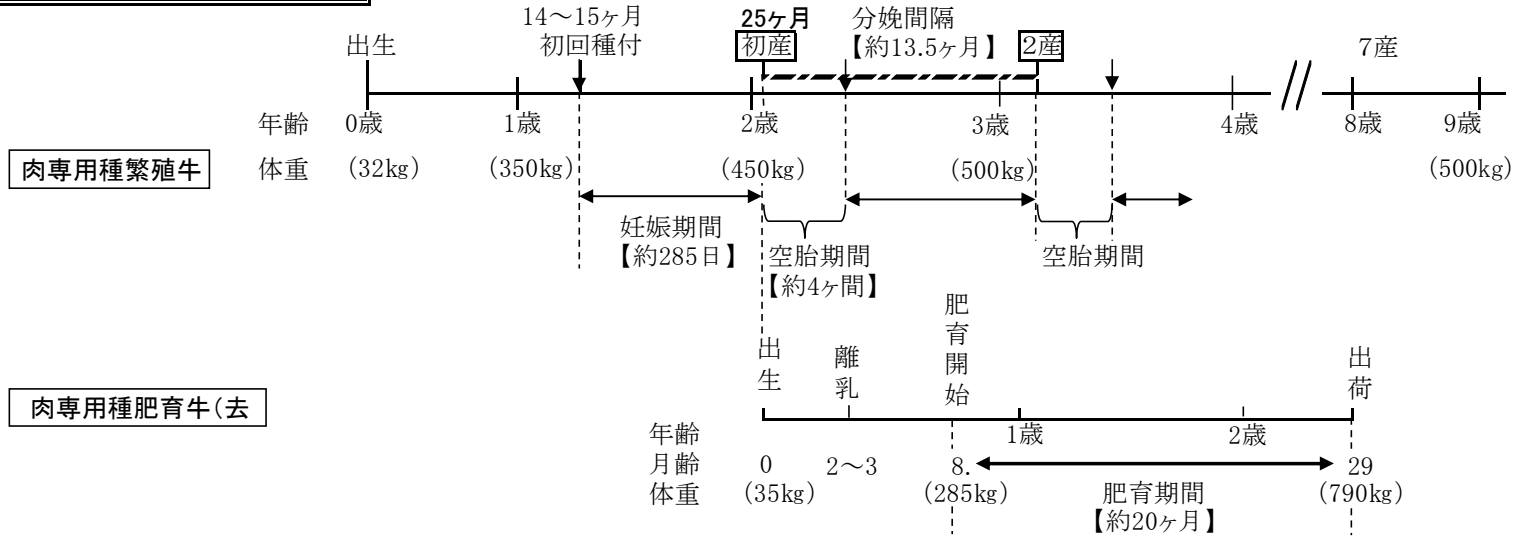


目次

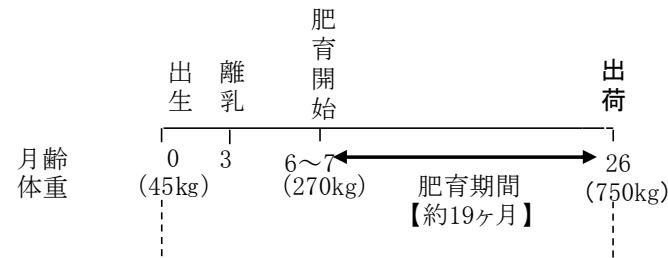
I	家畜のライフサイクル	P 1
	● 肉用牛・乳用牛のライフサイクル	P 2
	● 豚・肉用鶏・採卵鶏のライフサイクル	P 3
II	最近の畜産を巡る情勢	P 4
	● 佐賀県における農業産出額の推移	P 5
	● 肉用牛	P 6
	● 酪農	P10
	● 養豚	P12
	● 採卵鶏	P14
	● ブロイラー	P15
	● 飼料	P17
	● 佐賀県内で飼養されている牛及び豚、鶏一覧	P18
III	畜産物の生産・流通状況	P19
	● 牛乳（R2）・肉牛流通図（R5）	P20
	● 「佐賀牛」の概要	P21
	● 肉用牛改良資源施設飼養種雄牛一覧（R6年6月現在）	P22
	● 和牛枝肉販売実績表（R2～R5年度）	P23
	● 佐賀牛・佐賀産和牛輸出量推移（H19～R5年度）	P24
	● 「肥前さくらポーク」の概要（生産体系）	P25
	● 肉豚・肥前さくらポーク流通図（H21・R5年度）	P26
	● 食料自給率・消費量の推移	P27
	● 家計調査	P28
IV	参考資料	P31
	● 配合飼料価格の推移について	P32
	● 高病原性鳥インフルエンザ等の解説	P33

I 家畜のライフサイクル

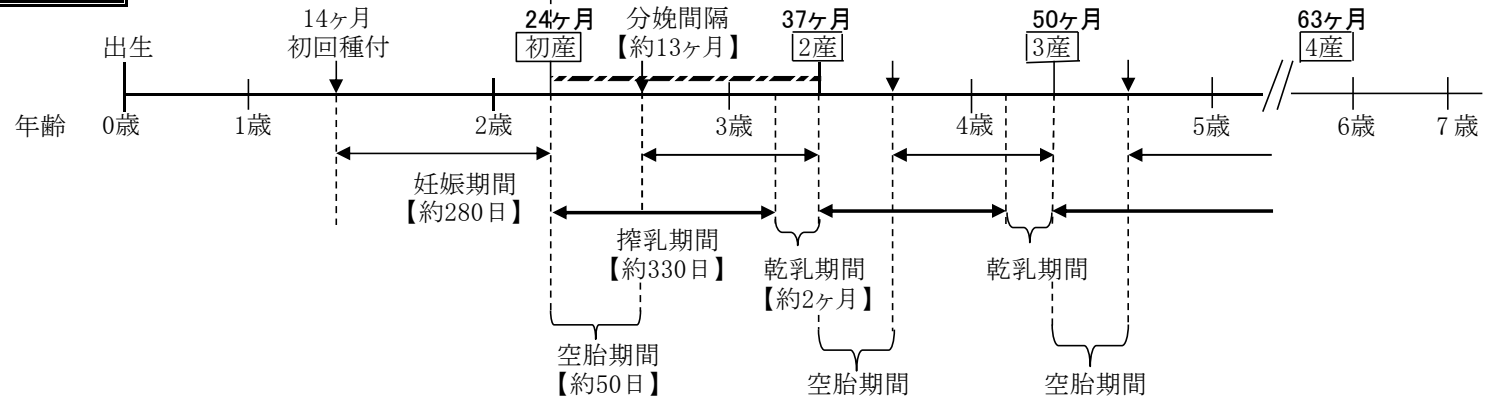
肉用牛のライフサイクル



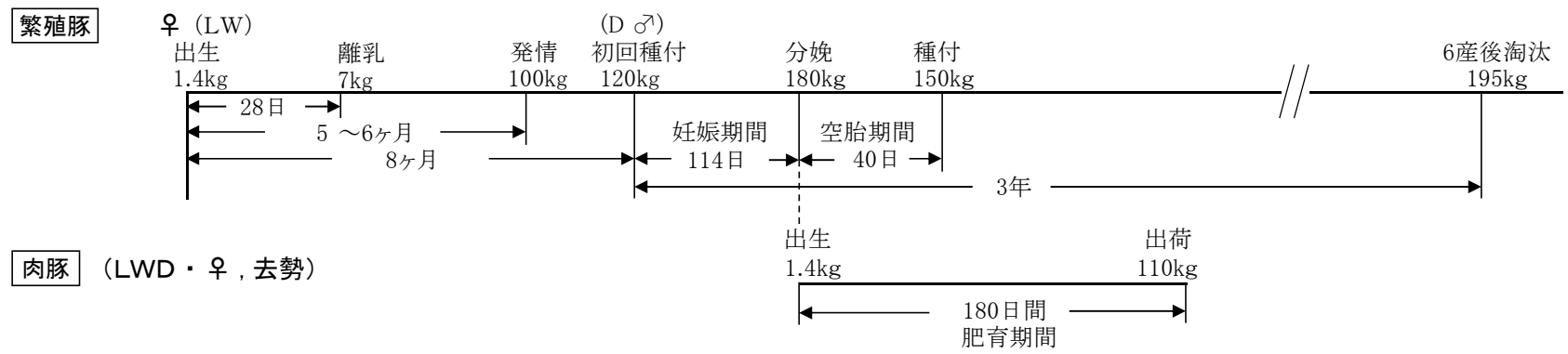
交雑種肥育牛



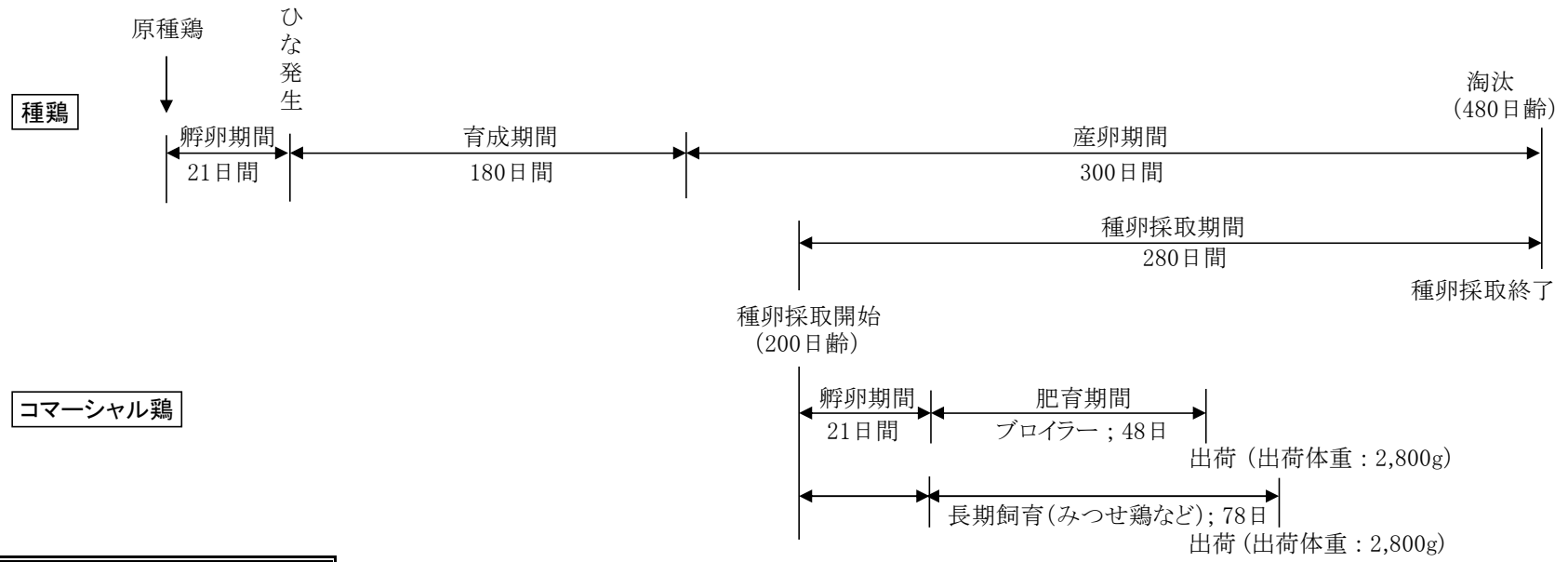
乳用牛のライフサイクル



豚のライフサイクル



肉用鶏のライフサイクル



採卵鶏のライフサイクル



Ⅱ 最近の畜産を巡る情勢

1 佐賀県における農業産出額の推移

○本県畜産部門の産出額は363億円で、農業全体の27.8%を占めている。

○品目別には、肉用牛が182億円でトップ、次いで鶏の109億円、豚の51億円となった。

(単位：億円、%)

区分(年次)	29年	30年	令和元年	2年	3年	4年	R4年/H29年比
農業産出額	1,311 (100.0)	1,277 (100.0)	1,135 (100.0)	1,219 (100.0)	1,206 (100.0)	1,307 (100.0)	99.7
耕種	967	921	791	873	845	939	97.1
畜産	337 (25.7)	351 (27.5)	340 (30.0)	342 (28.1)	356 (29.5)	363 (27.8)	107.7
肉用牛	159 (12.1)	172 (13.5)	163 (14.4)	162 (13.3)	181 (15.0)	182 (13.9)	114.5
乳用牛	18 (1.4)	19 (1.5)	18 (1.6)	20 (1.6)	19 (1.6)	18 (1.4)	100.0
うち生乳	15 (1.1)	15 (1.2)	15 (1.3)	17 (1.4)	16 (1.3)	16 (1.2)	106.7
豚	57 (4.3)	48 (3.8)	49 (4.3)	52 (4.3)	51 (4.2)	51 (3.9)	89.5
鶏	100 (7.6)	110 (8.6)	108 (9.5)	105 (8.6)	101 (8.4)	109 (8.3)	109.0
うち鶏卵	15 (1.1)	14 (1.1)	14 (1.2)	12 (1.0)	13 (1.1)	12 (0.9)	80.0
その他	3 (0.2)	2 (0.2)	2 (0.2)	3 (0.2)	3 (0.2)	3 (0.2)	100.0

資料 農林水産省「農業産出額及び生産農業所得（都道府県別）」（令和6年3月14日公表）

注 農業産出額には、上記以外に加工農産物を含む。

各部門の計と内訳は、ラウンドの関係で一致しない場合がある。

2 肉用牛

(1) 飼養戸数及び頭数

○本県肉用牛の飼養戸数は508戸で、5年間で16.4%減少し、飼養頭数は52,200頭で、5年間で0.2%増加した。

○農家1戸当たり飼養頭数は102.8頭/戸で、5年間で20.0%増加した。

【飼養戸数及び頭数】

(単位：戸、頭、頭/戸、%)

区分(年次)		令和元年	2年	3年	4年	5年	6年	R6年/R1年比
飼養戸数	全国	46,300	43,900	42,100	40,400	38,600	36,500	78.8
	佐賀	608	576	554	532	519	508	83.6
飼養頭数	全国	2,503,000	2,555,000	2,605,000	2,614,000	2,687,000	2,672,000	106.8
	佐賀	52,100	52,300	52,600	52,800	52,400	52,200	100.2
1戸当たり飼養頭数	全国	54.1	58.2	61.9	64.7	69.6	73.2	135.3
	佐賀	85.7	90.8	94.9	99.2	101.0	102.8	120.0

資料 農林水産省「畜産統計」(令和6年2月1日現在、令和6年7月9日公表)

ア 肥育牛飼養及び生産状況

(単位：戸、頭、頭/戸、%)

区分(年次)		令和元年	2年	3年	4年	5年	6年	R6年/R1年比
肉 専 用 種	飼養戸数*	201	191	190	184	189	181	90.0
	飼養頭数*	35,600	36,500	36,500	36,600	36,400	36,300	102.0
	1戸当たり飼養頭数*	177.1	191.1	192.1	198.9	192.6	200.6	113.3
	出荷頭数**	22,456	22,325	21,836	21,945	22,494	—	—
乳 用 種	飼養戸数*	29	31	25	28	25	29	100.0
	飼養頭数*	1,140	1,060	1,130	1,220	1,160	1,270	111.4
	1戸当たり飼養頭数*	39.3	34.2	45.2	43.6	46.4	43.8	111.5
	出荷頭数**	907	846	792	966	858	—	—

資料 農林水産省「畜産統計」(令和6年2月1日現在、令和6年7月9日公表)

出荷頭数は、家畜改良センターデータ「と畜頭数」(年度計)

注 *は年次計、**は年度計。

飼養戸数は延べ戸数。飼養頭数は、肥育農家(一貫農家を含む。)が哺育育成中又は肥育中の頭数。

イ 子取り用めす牛（繁殖牛）飼養及び肥育素牛生産状況 (単位：戸、頭、頭/戸、%)

区分(年次)		令和元年	2年	3年	4年	5年	6年	R6年/R1年比
肉専用種	繁殖牛飼養戸数*	452	440	420	407	398	390	86.3
	繁殖牛飼養頭数*	10,100	9,710	9,890	10,000	10,100	9,950	98.5
	一戸当たり繁殖牛飼養頭数*	22.3	22.1	23.5	24.6	25.4	25.5	114.3
	出生頭数**	8,210	8,266	8,298	8,046	8,017	—	—
	肥育素牛生産頭数**	6,568	6,612	6,638	6,436	6,413	—	—
	と畜頭数**	22,456	22,325	21,836	21,945	22,494	—	—
	肥育素牛県内自給率**	29.2	29.6	30.4	29.3	28.5	—	—

資料 農林水産省「畜産統計」（令和6年2月1日現在、令和6年7月9日公表）

家畜改良センターデータ（出生頭数、と畜頭数）（年度計）

注 *は年次計、**は年度計。

肥育素牛生産頭数、と畜頭数、自給率は肉専用種(黒毛和種)のみの数値。

肥育素牛生産頭数は、出生頭数×0.8。

(2) 生産及び価格の動向

○本県の肉用子牛出荷頭数は6,039頭で、5年間で6.6%減少した。

○と畜頭数は23,362頭で、5年間で0.8%減少した。

【肉用子牛出荷頭数及びと畜頭数】

(単位：頭、%)

区分(年次)		30年	令和元年	2年	3年	4年	5年	R5年/H30年比
肉用子牛出荷頭数	全国	312,500	312,198	342,798	348,530	360,813	366,887	117.4
	佐賀	6,467	6,434	6,720	6,147	6,206	6,039	93.4
と畜頭数	全国	1,056,238	1,043,093	1,051,862	1,055,075	1,087,545	1,098,455	104.0
	佐賀	23,543	23,368	23,178	22,628	22,911	23,362	99.2
うち黒毛和種	全国	452,955	457,904	477,761	482,847	489,792	506,677	111.9
	佐賀	22,452	22,456	22,325	21,836	21,945	22,494	100.2
うち乳用種	全国	338,651	332,323	328,203	325,007	330,560	320,153	94.5
	佐賀	412	326	349	301	390	286	69.4
うち交雑種	全国	249,012	236,905	228,052	228,798	248,612	260,789	104.7
	佐賀	672	581	497	491	576	572	85.1

資料 肉用子牛出荷頭数は農畜産業振興機構HP「肉用子牛取引状況表（中央家畜市場）」（年度計）

と畜頭数のうち全国値は農林水産省「畜産物流通統計」（令和6年6月28日公表）（年度計）

と畜頭数のうち佐賀県の値は家畜改良センターデータ（年度計）

注 と畜頭数のうち黒毛和種の全国値は、「和牛」の頭数を採用。

【和子牛価格及び牛枝肉卸売価格】

(単位：円/頭、円/kg、%)

区分(年次)		30年	令和元年	2年	3年	4年	5年	R5年/H30年比
和子牛価格	全国	762,511	766,011	688,976	755,156	667,824	569,134	74.6
	佐賀	769,313	747,918	654,871	755,831	668,528	566,909	73.7
和牛去勢A-5価格(大阪)		2,846	2,794	2,522	2,767	2,664	2,574	90.4
和牛去勢A-4		2,504	2,417	2,079	2,451	2,340	2,157	86.1
乳牛去勢B-3		1,182	-	1,058	1,151	1,881	1,165	98.6
乳牛去勢B-2		1,079	1,091	1,033	1,057	1,339	829	76.8

資料 農畜産業振興機構HP「畜産物の需給関係の諸統計データ」

大阪市場の価格については農林水産省「畜産物流通統計」(令和6年6月28日公表)

(3) 肉専用種枝肉格付状況の推移(黒毛和種去勢 4・5率)

○本県産牛肉の格付状況は、5年間で4・5率が7.4ポイント増加し、94.4%となった。

(単位：%、ポイント)

区分(年度)		30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	R5年-H30年
4 率	全国	40.5	37.7	36.0	33.4	28.9	27.0	-13.5
	佐賀	39.7	36.0	32.0	28.6	26.4	23.7	-16.0
5 率	全国	43.2	48.8	52.2	56.7	62.7	65.4	22.2
	佐賀	47.2	51.8	59.4	64.0	67.7	70.7	23.5
合計	全国	83.7	86.6	88.2	90.1	91.6	92.5	8.8
	佐賀	87.0	87.8	91.4	92.5	94.1	94.4	7.4

資料 (公社)日本食肉格付協会「牛枝肉格付情報」

(4) 佐賀牛の出荷頭数

○肉質の改良や肥育技術の向上などにより、佐賀牛の発生率は年々向上している。

(単位：頭、%、ポイント)

区分(年度)		30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	R5年/H30年比
JAグループ出荷頭数		16,124	16,391	16,259	16,091	15,987	16,834	104.4
佐賀牛の出荷頭数		10,224	11,099	12,114	12,741	13,116	14,129	138.2
佐賀牛の発生率		63.4	67.7	74.5	79.2	82.0	83.9	+20.5

資料 JAグループ佐賀

(5) 収益性の動向

○価格の低迷や飼料価格の高騰等により、所得は大幅に減少している。

【収益性】

(単位：円/頭、%)

区分(年度)		29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	R4年-H29年
繁殖雌牛1頭当たり 所得(子牛生産費)	全国	370,773	336,995	327,905	243,981	260,554	107,460	△ 263,313
	九州	349,068	324,362	295,739	194,949	157,597	93,436	△ 255,632
去勢若齢肥育牛 1頭当たり所得	全国	123,445	54,041	70,929	△ 49,813	66,941	7,451	△ 115,994
	九州	82,104	6,097	38,707	△ 80,520	61,748	△ 10,800	△ 92,904
交雑種肥育牛 1頭当たり所得	九州	△ 25,336	△ 15,712	39,374	△ 104,939	△ 39,864	△ 71,385	△ 46,049
乳用雄肥育牛 1頭当たり所得	九州	△ 14,643	△ 12,138	△ 11,840	△ 35,635	△ 77,927	△ 149,989	△ 135,346

資料 農林水産省「農業経営統計調査 令和4年度畜産物生産費」(令和6年3月29日公表)

(6) 輸入の動向

○牛肉の輸入量は約50万トンで、5年間で19.0%減少した。

○米国、豪州産で総輸入量の約8割を占めており、5年間で米国産は24.6%減少し、豪州産は28.7%減少した。

【輸入量】

(単位：トン、%)

区分(年度)	30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	R5年/H30年比
輸入量	619,686	622,366	590,992	569,107	562,505	501,898	81.0
うちアメリカ	254,324	245,377	252,705	221,918	232,994	191,802	75.4
うちオーストラリア	310,064	290,926	255,908	228,100	208,016	221,186	71.3

資料 農畜産業振興機構HP「畜産物の需給関係の諸統計データ」

3 酪農

(1) 飼養戸数及び頭数

○本県酪農の飼養戸数は32戸で、5年間で25.6%減少し、飼養頭数は1,830頭で、5年間で18.3%減少した。

○農家1戸当たり経産牛飼養頭数は45頭/戸で、5年間で18%増加した。

【飼養戸数及び頭数等】

(単位：戸、頭、頭/戸、kg/頭、%)

区分(年次)		令和元年	2年	3年	4年	5年	6年	R6年/R1年比
飼養戸数	全国	15,000	14,400	13,800	13,300	12,600	11,900	79.3
	都府県	9,070	8,520	8,120	7,740	7,240	6,730	74.2
	佐賀	43	41	40	39	34	32	74.4
飼養頭数	全国	1,332,000	1,352,000	1,356,000	1,371,000	1,356,000	1,313,000	98.6
	都府県	530,600	531,400	525,900	525,100	513,000	491,200	92.6
	佐賀	2,240	2,240	2,110	2,140	1,970	1,830	81.7
経産牛飼養頭数	全国	839,200	838,900	849,300	861,700	836,600	826,200	98.5
	都府県	374,700	379,100	379,000	380,800	366,600	358,200	95.6
	佐賀	1,640	1,760	1,640	1,650	1,540	1,440	87.8
未經産牛飼養頭数 (2歳未満)	全国	431,100	452,000	445,800	447,200	459,300	423,000	98.1
	都府県	132,700	126,500	120,600	117,200	120,000	105,700	79.7
	佐賀	520	380	360	390	340	280	53.8
1戸当たり経産牛 飼養頭数	全国	55.9	58.3	61.5	64.8	66.4	69.4	124.1
	都府県	41.3	44.5	46.7	49.2	50.6	53.2	128.8
	佐賀	38.1	42.9	41.0	42.3	45.3	45.0	118.0
経産牛1頭当たり 搾乳量	全国	8,767	8,806	8,938	8,941	-	-	-
	都府県	8,554	8,640	8,779	8,901	-	-	-
	佐賀	8,433	8,439	8,539	8,512	-	-	-

資料 農林水産省「畜産統計」(令和6年2月1日現在、令和6年7月9日公表)

農林水産省「牛乳乳製品統計」(令和5年7月26日公表)

注 「経産牛1頭当たり搾乳量」(佐賀)：生乳生産量/{(当年の経産牛飼養頭数+次年の経産牛飼養頭数)/2} *1,000

(2) 生産及び価格の動向

○県プール乳価は124円/kgで、5年間で21.6%増加した。

【生乳生産量及び乳製品等の価格】

(単位：t、円/kg、円/25kg、%)

区分(年次)		30年	令和元年	2年	3年	4年	5年	R5年/H30年比
生乳生産量	全国	7,289,227	7,313,530	7,438,218	7,592,061	7,617,473	—	—
	都府県	3,324,034	3,265,333	3,284,504	3,326,461	3,308,198	—	—
	佐賀	14,715	14,336	14,346	14,046	13,576	—	—
原料用バター価格		1,389	1,385	1,407	1,388	1,372	1,537	110.6
脱脂粉乳価格(25kg)		17,952	17,873	17,698	17,598	17,580	19,511	108.7
佐賀県プール乳価		102	109	110	110	112	124	121.6

資料 農林水産省「牛乳乳製品統計」(令和5年7月26日公表)

「大口需要者向けの価格動向」(令和5年9月25日公表)

J Aグループ佐賀データ(佐賀県プール乳価)

注 バター及び脱脂粉乳価格は年度平均

都府県の生乳生産量は、全国値から北海道値を差し引いた値

佐賀県プール乳価は令和元年度から算出方法変更

(3) 収益性

○搾乳牛1頭当たりの所得は238,895円で、5年間で12.2%減少した。

【収益性】

(単位：円/頭、%)

区分(年度)		29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	R4年/H29年比
搾乳牛通年換算 1頭当たり所得	全国	306,277	291,225	278,479	261,994	211,136	106,546	34.8
	九州	272,140	306,593	270,046	303,314	310,584	238,895	87.8

資料 農林水産省「農業経営統計調査 令和4年度畜産物生産費」(令和6年3月29日公表)

4 養豚

(1) 飼養戸数及び頭数の動向

○本県養豚の飼養戸数は28戸で、5年間で34.9%減少し、飼養頭数は69,500頭で、5年間で14.8%減少した。

○農家1戸当たり飼養頭数は2,482頭/戸で、5年間で30.8%増加した。

【飼養戸数及び頭数】

(単位：戸、頭、頭/戸、%)

区分(年次)		令和元年	3年	4年	5年	6年	R6年/R1年比
飼養戸数	全国	4,320	3,850	3,590	3,370	3,130	72.5
	佐賀	43	35	34	31	28	65.1
飼養頭数	全国	9,156,000	9,290,000	8,949,000	8,956,000	8,798,000	96.1
	佐賀	81,600	82,900	82,600	85,400	69,500	85.2
子取り用めす豚 頭数	全国	853,100	823,200	789,100	791,800	758,300	88.9
	佐賀	7,390	7,160	6,660	6,470	6,100	82.5
1戸当たり飼養 頭数	全国	2,119	2,413	2,493	2,658	2,811	132.7
	佐賀	1,898	2,369	2,429	2,755	2,482	130.8

資料 農林水産省「畜産統計」(令和6年2月1日現在、令和6年7月9日公表)

注 令和2年は農林業センサス実施年のため調査は休止している。

(2) 生産及び価格の動向

○本県の肉豚と畜頭数は99,643頭で、5年間で7.2%減少した。

○卸売価格は608円/kgで、5年間で16.9%増加した。

【と畜頭数及び枝肉価格】

(単位：頭、円/kg、%)

区分(年次)		30年	令和元年	2年	3年	4年	5年	R5年/H30年比
と畜頭数	全国	16,429,217	16,318,552	16,689,638	16,835,709	16,577,133	16,406,981	99.9
	佐賀	107,389	104,921	104,828	103,526	99,795	99,643	92.8
卸売価格(東京市場・省令)		520	525	565	547	534	608	116.9

資料 農林水産省「畜産物流通統計」(令和6年6月28日公表)

(3) 豚肉の上物率（格付「極上」と「上」の割合） (単位：％、ポイント)

区分(年度)	30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	R5年-H30年
肉豚上物率	65.5	65.0	61.3	60.8	60.7	62.8	-2.7

資料 J Aグループ佐賀データ

(4) 収益性の動向

○肥育豚1頭当たりの所得は1,080円で、飼料価格高騰等の影響により減少した。

【収益性】

(単位：円/頭、％)

区分(年度)		29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	R4年/H29年比
肥育豚1頭当たり 所得	全国	10,729	7,504	7,596	9,712	4,533	1,160	10.8
	九州	10,409	8,477	7,592	10,302	4,993	1,080	10.4

資料 農林水産省「農業経営統計調査 令和4年度畜産物生産費」(令和6年3月29日公表)

(5) 輸入の動向

○豚肉の輸入量は約91万トンで、5年間で0.2%減少した。

【輸入量】

(単位：トン、％)

区分(年度)		30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	R5年/H30年比
輸入量		916,172	953,112	883,985	928,994	965,144	914,511	99.8
	うちアメリカ	258,453	251,196	250,265	249,078	226,712	224,745	87.0
	うちカナダ	223,342	236,255	235,430	226,213	208,376	221,052	99.0
	うちスペイン	109,433	122,812	98,995	136,233	189,502	164,138	150.0
	うちデンマーク	103,920	102,489	74,269	81,367	84,612	55,633	53.5

資料 農畜産業振興機構HP「畜産物の需給関係の諸統計データ」

5 採卵鶏

(1) 飼養戸数及び羽数の動向

○本県採卵鶏の飼養戸数は24戸で、5年間で20.0%減少し、飼養羽数は251千羽で、5年間で48.1%減少した。

○農家1戸当たり飼養羽数は10.5千羽/戸で、5年間で34.8%減少した。

【飼養戸数及び飼養羽数】

(単位：戸、千羽、千羽/戸、%)

区分(年次)		令和元年	3年	4年	5年	6年	R6年/R1年比
飼養戸数	全国	2,120	1,960	1,880	1,760	1,700	80.2
	佐賀	30	26	24	24	24	80.0
飼養羽数	全国	182,368	183,373	182,661	172,265	168,599	92.4
	佐賀	484	319	267	200	251	51.9
成鶏めす飼養羽数	全国	141,792	140,697	137,291	128,579	129,729	91.5
	佐賀	363	283	230	184	233	64.2
1戸当たり飼養羽数	全国	86.0	93.6	97.2	97.9	99.2	115.3
	佐賀	16.1	12.3	11.1	8.3	10.5	65.2

資料 農林水産省「畜産統計」(令和6年2月1日現在、令和6年7月9日公表)

注 戸数及び羽数は種鶏を除く

令和2年は農林業センサス実施年のため調査は休止している。

(2) 生産及び価格の動向

○本県の鶏卵生産量は4,914トンで、5年間で27.0%減少した。

【出荷量及び価格】

(単位：トン、円/kg、%)

区分(年次)		30年	令和元年	2年	3年	4年	5年	R5年/H30年比
生産量	全国	2,627,764	2,639,733	2,632,882	2,574,255	2,596,725	2,437,773	92.8
	佐賀	6,731	7,069	6,290	5,415	4,768	4,914	73.0
卸売価格(東京・全農M・税抜)		171	182	170	215	251	276	161.4

資料 農林水産省「鶏卵流通統計」(令和6年3月26日公表)

農畜産業振興機構HP「畜産物の需給関係の諸統計データ」

注 卸売価格については「年度平均」。

6 ブロイラー

(1) 飼養戸数及び羽数の動向

○本県ブロイラーの飼養戸数は62戸で、5年間で8.8%減少し、飼養羽数は3,929千羽で、0.2%減少した。

○農家1戸当たり飼養羽数は63.4千羽/戸で、5年間で9.5%増加した。

【飼養戸数及び飼養羽数】

(単位：戸、千羽、千羽/戸、%)

区分(年次)		令和元年	3年	4年	5年	6年	R6年/R1年比
飼養戸数	全国	2,250	2,160	2,100	2,100	2,050	91.1
	佐賀	68	64	63	62	62	91.2
飼養羽数	全国	138,228	139,658	139,230	141,463	144,859	104.8
	佐賀	3,935	3,751	3,637	3,949	3,929	99.8
1戸当たり飼養羽数	全国	61.4	64.7	66.3	67.4	70.7	115.1
	佐賀	57.9	58.6	57.7	63.7	63.4	109.5

資料 農林水産省「畜産統計」(令和6年2月1日現在、令和6年7月9日公表)

注 令和2年は農林業センサス実施年のため調査は休止している。

(2) 生産及び価格の動向

○本県のブロイラー出荷羽数は17,366千羽で、5年間で0.7%増加した。

【出荷戸数・羽数及び価格】

(単位：千羽、円/kg、%)

区分(年次)		令和元年	3年	4年	5年	6年	R6年/R1年比
出荷羽数	全国	695,335	713,782	719,259	720,878	731,847	105.3
	佐賀	17,249	17,292	16,440	17,863	17,366	100.7
卸売価格(東京市場・もも)		593	636	713	720	—	—

資料 農林水産省「畜産統計」(令和6年2月1日現在、令和6年7月9日公表)

令和2年は農林業センサス実施年のため調査は休止している。

農畜産業振興機構HP「畜産物の需給関係の諸統計データ」

注 卸売価格については「年度平均」。

(3) 輸入の動向

○ブロイラーの輸入量は約60万トンで、5年間で11.7%増加した。

○ブラジル、タイ産で総輸入量の97.8%を占めており、5年間でタイ産が大幅に増加している。

【輸入量】

(単位：トン、%)

区分(年度)	30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	R5年/H30年比
輸入量	544,910	572,118	552,832	594,223	565,043	608,569	111.7
うち中国	31	8	—	—	—	—	—
うちアメリカ	16,768	16,061	12,323	15,908	10,994	12,321	73.5
うちタイ	131,139	127,978	133,362	135,335	140,413	173,026	131.9
うちブラジル	394,503	424,479	404,647	440,458	411,641	422,517	107.1

資料 農畜産業振興機構HP「畜産物の需給関係の諸統計データ」

7 飼料

○飼料作物の作付面積は4,420haで、5年間で31.5%増加した。

【飼料作物作付面積】

(単位：ha、%)

区分(年次)		30年	令和元年	2年	3年	4年	5年	R5年/H30年比
飼料作物作付面積	全国	970,300	961,600	955,700	1,001,000	1,026,000	1,018,000	104.9
	佐賀	3,360	3,380	3,460	3,780	4,180	4,420	131.5

資料 農林水産省「作物統計 作況調査」(令和6年3月8日公表)

○配合飼料価格は、97,531円/トンで、5年間で45.7%増加した。

【配合飼料価格】

(単位：円/トン、%)

区分(年度)	30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	R5年/H30年比
配合飼料価格(工場渡し価格)	66,951	66,769	67,556	80,485	97,544	97,531	145.7

資料 農林水産省生産局畜産部飼料課編 公益社団法人配合飼料供給安定機構発行「飼料月報」(令和6年5月20日公表)

8 畜産環境保全

○家畜排せつ物法適用農家は、平成17年から全戸適正な処理を実施している。

【県内家畜ふん尿適正処理戸数(法適用農家)】

(単位：戸、%)

区分(年度)	28年度	29年度	30年度	令和元年度	3年度	4年度	R4年/H28年比
畜産農家戸数	693	690	611	609	614	595	85.9
適正処理戸数	693	690	611	609	614	595	85.9
適正処理割合	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	—

資料 「家畜保健衛生所調査」

注 令和2年度は調査していない。

佐賀県内で飼養されている牛及び豚、鶏一覧

農林	市町	乳用種		肉用牛※									牛総計		豚		採卵鶏		肉用鶏	
				肥育牛				繁殖牛												
		黒毛和種等		乳用雄牛及び交雑種		繁殖牛計		成牛	育成	子牛	のべ農場数	頭数	農場数	頭数	農場数	羽数(成鶏)	農場数	羽数		
		農場数	頭数	農場数	頭数	農場数	頭数	農場数	頭数	頭数									頭数	頭数
佐賀中部	佐賀市	5	81	5	478	x	x	21	780	511	70	199	31	1,339	5	14,962	17	67,548	7	283,620
	多久市	x	x	10	2,150			19	609	388	35	186	29	2,759	x	x	5	50,336	x	x
	小城市	x	x	12	1,109	x	x	12	590	408	25	157	24	1,699	x	x	4	68		
東部	鳥栖市							x	x	31	4	17	x	x			6	4,133	x	x
	神埼市	3	410	x	x	x	x	x	x	9			3	410			4	1,745	x	x
	吉野ヶ里町	x	x										x	x			x	x		
	基山町	x	x	x	x			x	x	8		x	x	x	x	x	x	x	x	
	上峰町			7	385								7	385						
	みやき町	x	x	x	x	x	x						x	x	x	x	4	40		
唐津	唐津市	9	339	48	11,427	3	310	145	5,322	3,316	545	1,461	205	17,398	12	28,847	9	86,476	17	1,163,000
	玄海町	4	258	18	5,235	4	18	28	1,561	1,075	137	349	54	7,072	x	x				
伊万里	伊万里市			51	8,659	x	x	34	843	540	202	101	85	9,502	x	x	8	5,354	14	631,986
	有田町			15	1,128			5	144	116	19	9	20	1,272	x	x	x	x	13	491,500
杵藤	武雄市	3	158	22	1,533	3	83	64	1,690	1,021	388	281	92	3,464	6	10,250	9	11,312	4	299,000
	大町町																x	x	x	x
	江北町			3	375			x	x	31	6	21	3	375			5	54,477	x	x
	白石町			20	1,774	5	274	31	1,561	981	243	337	56	3,609			4	14,140		
	鹿島市	x	x	15	1,885	x	x	23	1,324	863	217	244	38	3,209	x	x	3	41,668	x	x
	嬉野市	x	x	4	178			17	325	181	91	53	21	503	x	x	4	3,144	8	131,200
	太良町	x	x	8	625	x	x	27	951	604	185	162	35	1,576	7	14,808	x	x	16	927,200

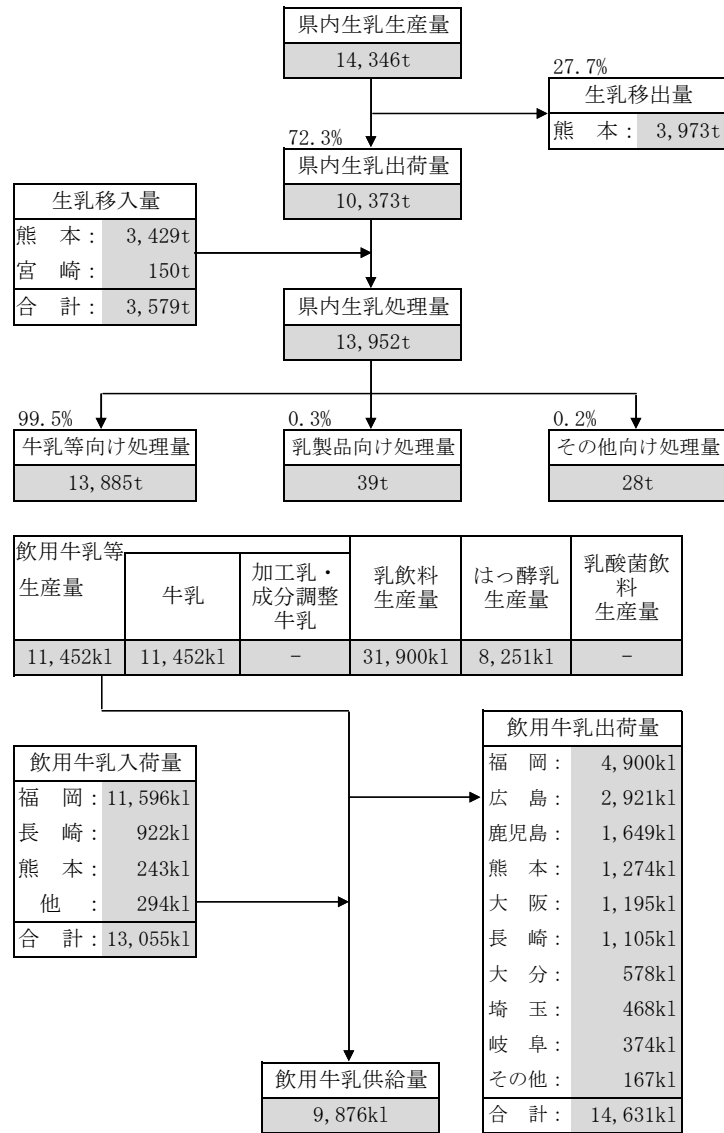
資料：「家畜保健衛生所調査」(令和5年2月現在)

※：肉用牛肥育の黒毛和種、乳用雄、交雑および繁殖牛の戸数はそれぞれで計上

※2「x」は秘匿数値

Ⅲ 畜産物の生産・流通状況

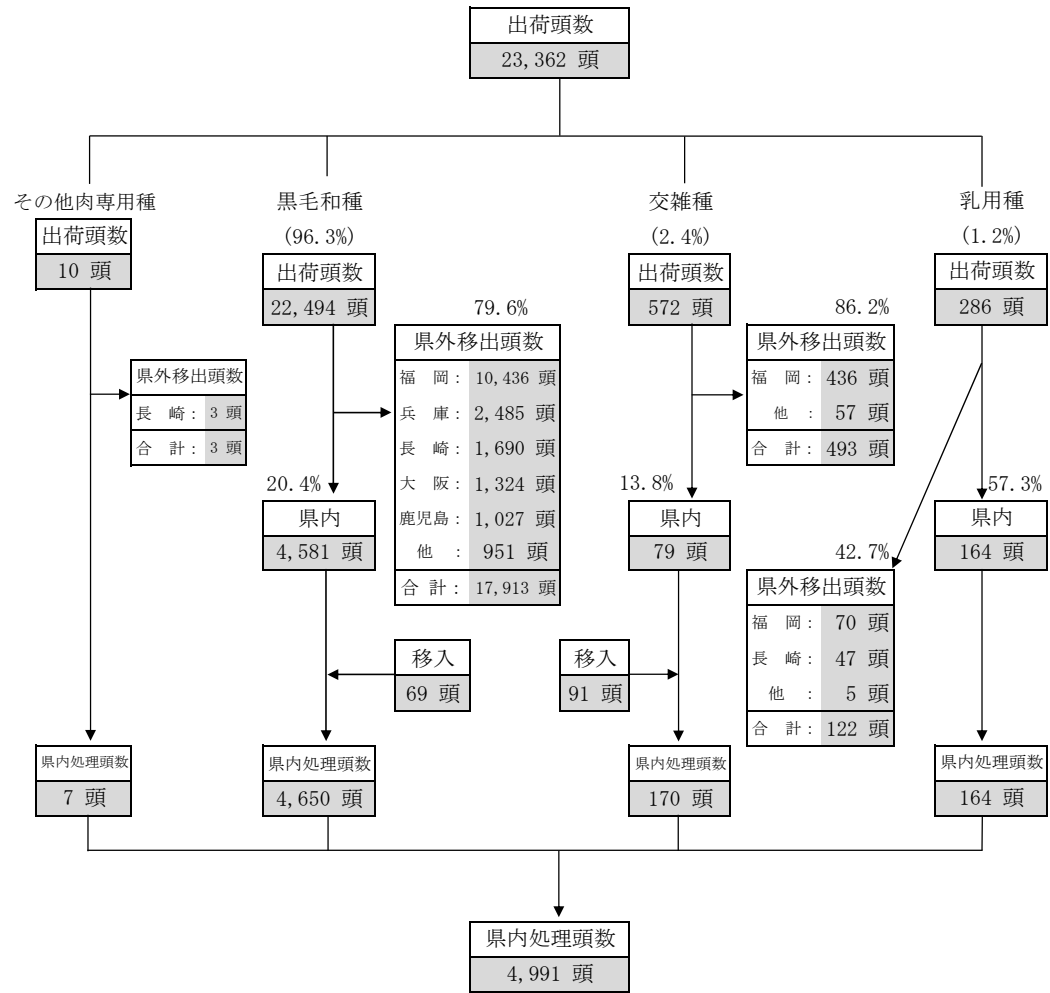
○ 牛乳流通図（令和2年）



(資料：農林水産省「牛乳乳製品統計」)

※令和3年以降一部公表なし

○ 肉牛流通図（令和5年度）



(資料：家畜改良センター(と畜頭数))

「佐賀牛」の概要

1 「佐賀牛」とは

「佐賀牛」とは、JAさがが定める基準に適合した牛肉で、その基準は次のとおり。

J Aグループ佐賀管内で肥育した黒毛和牛で、(社)日本食肉格付協会が定める牛枝肉取引規格の格付けで、
『肉質等級が4等級以上、かつ脂肪交雑のBMS値が7以上のもの』
 (佐賀牛のブランド力向上のため、平成16年にBMS値8以上から7以上に拡大)

2 佐賀牛の歴史【佐賀牛の基準】

- (1) 昭和36年より県産牛を関西市場へ出荷開始。
- (2) 50年代後半、肉質がよいことに注目され始める。
- (3) 59年から県経済連が、佐賀牛と表示して出荷。(歩留等級や肉質等級は問わず、全てを佐賀牛として販売。出荷先は、大阪、神戸、京都等。)
- (4) 62年度、A-5、B-5等級格付の「佐賀牛」を佐賀特選ブランドに選定し、63年度から佐賀牛のシールとともに佐賀特選ブランドシールを貼付して販売。
- (5) 平成2年8月に県内での「佐賀牛」取扱指定店の拡大と適正な表示販売を促進するため佐賀牛販売促進協議会が発足。
- (6) J Aグループ佐賀では「佐賀牛」の量の確保とブランド力を高めるため、平成16年1月から定義基準を肉質等級5等級又は4等級のもので脂肪交雑のBMS値がNo.7以上までに拡大。
- (7) 佐賀牛販売促進協議会においても県内の「佐賀牛」として販売できる牛肉の基準を拡大。
- (8) 平成19年から「佐賀牛」香港輸出開始。

3 佐賀牛の販売認定店制度

「佐賀牛」を取り扱う販売店(小売店)の認定(指定)状況は下記のとおりである。

(1) 県内

県内に所在する販売店からの申請に基づき、「佐賀牛表示販売取扱要領」の要件を満たす場合に佐賀牛販売促進協議会(事務局:県流通・貿易課)が「佐賀牛販売店」として認定
167店舗 (令和6年6月末現在)

(2) 県外

県外に所在する販売店からの申請に基づき、「佐賀牛取扱店舗指定店要領」の要件を満たす場合にJAさがが「佐賀牛取扱店」に指定。

639店舗 (令和6年6月末現在)

(3) 海外

94店舗 (令和6年6月末現在)

(香港24、シンガポール26、タイ11、フィリピン10、マカオ10、その他)

4 県産和牛出荷頭数及び4・5率の変遷等

年度	県産和牛 出荷頭数 (頭)	繁殖雌牛 飼養頭数 (頭)	子牛 取引頭数 (頭)	和牛枝肉 平均単価 (円/ kg)	肉質4・5等級率		佐賀牛 出荷頭数 (頭)
					佐賀県 (%)	全国 (%)	
17	24,690	9,820	6,151	1,998	59.9	54.8	4,792
18	24,886	9,470	6,307	2,001	61.8	55.5	4,742
19	25,023	10,200	6,236	1,926	58.7	56.5	4,830
20	26,338	11,200	6,898	1,735	61.5	59.0	5,884
21	27,158	11,700	7,344	1,616	62.1	58.3	6,137
22	27,164	11,500	7,507	1,590	62.8	57.2	6,211
23	28,075	11,100	7,207	1,590	63.8	58.8	6,668
24	27,307	10,100	6,796	1,698	67.5	63.0	7,221
25	26,933	9,540	6,591	1,847	65.2	58.1	7,905
26	25,739	9,400	6,317	1,956	77.9	73.5	9,090
27	24,060	9,080	6,149	2,345	81.6	78.0	9,452
28	23,132	9,070	6,174	2,540	82.5	80.3	9,352
29	22,690	9,230	6,440	2,416	84.5	82.1	9,702
30	22,452	9,190	6,557	2,466	86.9	83.7	10,224
R元	22,456	10,100	6,562	2,336	87.8	86.5	11,099
R2	22,325	9,710	6,774	2,215	91.4	88.2	12,114
R3	21,836	9,890	6,593	2,467	92.6	90.1	12,741
R4	21,945	10,000	6,770	2,397	94.1	91.6	13,116
R5	22,494	10,100	6,673	2,287	94.4	92.5	14,129

資料: 出荷頭数: 「食肉流通統計」、H22 から「家畜改良センターと畜頭数データ」

飼養頭数: 「畜産統計」 子牛取引頭数、和牛枝肉平均単価: 佐賀県農協調査格付状況: (社)日本食肉格付協会(去勢のみ)

注1: 佐賀県の格付状況は、全出荷先が対象。

2: 格付状況の本県と全国の比較は、平成14年度までは、5率(本県:県経済連調査、全国:(社)日本食肉格付協会(去勢のみ))で比較したが、平成15年度以降、4.5率の比較(本県、全国:(社)日本食肉格付協会(去勢のみ))に変更。

3: 「佐賀牛」出荷頭数 平成15年度までは5率以上、平成16年度からはBMS7以上

5 「佐賀牛」生産の課題

- (1) 肥育素牛県内自給率の向上【県内肥育素牛自給率:2023 28.5%】
 - ・佐賀県「食」と「農」の振興計画2023による目標値 2026 32.3%、2032 34.6%
- (2) 優良種雄牛の確保
 - ・平成8年度から肉用牛改良資源施設を運営開始
 - ・認定種雄牛(供用中) 「誠華山」、「照茂栄」、「豊晴福」、「美津秀吉」

佐賀県肉用牛改良資源施設飼養 種雄牛一覧

令和6年6月21日現在（育種価評価 令和6年4月）

区分	種雄牛名	父	母方祖父	母方曾祖父	4代祖	5代祖	生年月日	産地・育種価・検定成績
選抜	誠華山	百合茂	勝忠平	安平	隆桜	秀安	H25. 11. 18	産地:武雄市 育種価:HAABBB(158頭) 直検:DG1.46 現検:枝重536.3kg、BMS7.8 (R元.5月選抜)
	照茂栄	福安照	百合茂	福栄	北国7の3	第20平茂	H26. 11. 15	産地:白石町 育種価:HAHAAB(144頭) 直検:DG1.16 現検:枝重550.6kg、BMS9.4 (R2.5月選抜)
	豊晴福	豊茂国	平茂晴	福之国	安平	糸福(大分)	H27. 10. 25	産地:玄海町 育種価:HAHCBA(30頭) 直検:DG=1.28 現検:枝重536.1kg、BMS9.6 (R3.5月選抜)
	美津秀吉	美津照重	勝忠平	福栄	糸晴(佐賀)	糸波	H30. 11. 28	産地:白石町 育種価:CBBCCH(31頭) 直検:DG=1.36 現検:枝重547.7kg、BMS10.6 (R6.5月選抜)
検定中〔待機〕	二尺玉	直太郎	勝忠平	安福久	百合茂	平茂勝	R元. 8. 11	産地:嬉野市 直検:DG=1.38 R7.5月選抜予定
	美智久	美国桜	耕富士	安福久	平茂勝	安平	R2. 5. 30	産地:鹿島市 直検:DG=1.20 R8.5月選抜予定
	美国85乃3	美国桜	白鵬85の3	百合白清2	勝安波	安平	R2. 11. 29	産地:伊万里市 直検:DG=1.14 R9.5月選抜予定
	九八	福之姫	百合茂	安福久	勝忠平	第5隼福	R3. 9. 8	産地:唐津市 直検:DG=1.04 R10.5月選抜予定
	福之福	福之姫	安亀忠	安福久	平茂晴	平茂勝	R4. 10. 16	産地:唐津市 直検:DG=0.89 R10.5月選抜予定
直接検定牛	貴白清2	貴隼桜	百合白清2	平茂晴	安福久	平茂勝	R4. 9. 11	産地:唐津市 直検:DG=1.23 事業団連携(予定)
	零魅幸	勝乃幸	零実緒	平茂晴	勝忠平	安福165の9	R5. 2. 8	産地:玄海町 直検:令和5年9月開始
検定予定	第28期 人工授精による作出 (R5.4~人工授精開始)							
	第29期 人工授精による作出 (R6.4~人工授精開始)							
全農種雄牛	満天太郎	金太郎3	百合茂	安福久	平茂勝	忠福	H29. 5. 29	産地:北海道 H31.3月搬入
	北桜丸	勝早桜5	安福久	勝忠平	第5隼福	金徳	H31. 1. 13	産地:北海道 R2.3月搬入
	北福峰	紀多福	白鵬85の3	美津照重	百合茂	美津福	R3. 4. 19	産地:北海道 R4.3月搬入
	北萬徳	紀多福	満天白清	耕富士	福之国	百合茂	R4. 7. 21	産地:北海道 R5.5月搬入
	千代萬徳	北美津久	満天白清	耕富士	福之国	百合茂	R5. 6. 19	産地:北海道 R6.5月搬入
事業団連携	南富士	美国桜	耕富士	安福久	勝忠平	神高福	R2. 5. 28	産地:小城市 直検:DG=1.46 E黒045・R3後期調整交配(令和4年9月1日譲渡)

○ 和牛枝肉販売実績表(JAグループさが)

販売先	令和2年度									令和3年度							
	頭数 (頭)	シェア (%)	枝肉重量 (kg)	平均単価 (円)	販売金額 (円)	5率 (%)	佐賀牛 (BMS7以上)	佐賀牛率 (%)	頭数 (頭)	シェア (%)	枝肉重量 (kg)	平均単価 (円)	販売金額 (円)	5率 (%)	佐賀牛 (BMS7以上)	佐賀牛率 (%)	
関西	南港	1,523	9.37	515.1	2,239	1,153,335	45.6	1,026	67.4%	1,407	8.74	511.4	2,475	1,265,488	59.9	1,102	78.3%
	神戸	1,376	8.46	460.7	2,291	1,055,216	59.5	1,148	83.4%	1,381	8.58	463.4	2,483	1,150,511	64.4	1,208	87.5%
	西宮	817	5.02	489.6	2,132	1,043,963	42.4	534	65.4%	747	4.64	486.5	2,407	1,171,119	47.9	523	70.0%
	京都																
	姫路	168	1.03	519.3	2,379	1,235,546	65.5	152	90.5%	168	1.04	523.8	2,596	1,359,454	84.7	163	97.0%
関東	東京	622	3.83	504.8	2,234	1,127,602	54.3	511	82.2%	620	3.85	494.0	2,397	1,184,277	60.0	522	84.2%
九州	畜産公社	2,514	15.46	474.1	2,110	1,000,172	53.4	1,762	70.1%	2,221	13.80	469.2	2,354	1,104,279	58.0	1,629	73.3%
	二日市	4,824	29.67	489.9	2,214	1,084,857	59.4	3,696	76.6%	4,382	27.23	483.7	2,470	1,194,688	60.1	3,445	78.6%
	福岡	3,549	21.83	493.2	2,315	1,141,613	56.7	2,733	77.0%	4,311	26.79	498.1	2,566	1,278,318	64.0	3,568	82.8%
	佐世保	143	0.88	438.1	2,264	991,817	43.4	84	58.7%	135	0.84	434.9	2,488	1,082,199	51.9	92	68.1%
	ナンチク	723	4.45	511.3	2,147	1,097,863	43.3	468	64.7%	719	4.47	512.3	2,449	1,254,705	51.7	489	68.0%
合計	16,259	100	489.4	2,225	1,088,955	54.8	12,114	74.5%	16,091	100	488.1	2,477	1,208,977	60.5	12,741	79.2%	

販売先	令和4年度									令和5年度							
	頭数 (頭)	シェア (%)	枝肉重量 (kg)	平均単価 (円)	販売金額 (円)	5率 (%)	佐賀牛 (BMS7以上)	佐賀牛率 (%)	頭数 (頭)	シェア (%)	枝肉重量 (kg)	平均単価 (円)	販売金額 (円)	5率 (%)	佐賀牛 (BMS7以上)	佐賀牛率 (%)	
関西	南港	1,198	7.49	513.5	2,430	1,247,796	64.8	1,000	83.5%	1,324	7.87	510.9	2,363	1,207,023	76.0	1,189	89.8%
	神戸	1,235	7.73	462.5	2,418	1,118,407	70.0	1,116	90.4%	1,197	7.11	468.7	2,332	1,092,854	75.7	1,108	92.6%
	西宮	698	4.37	492.2	2,335	1,149,063	52.9	511	73.2%	838	4.98	496.8	2,261	1,123,267	55.5	617	73.6%
	京都																
	姫路	251	1.57	529.6	2,575	1,363,696	84.5	247	98.4%	323	1.92	517.6	2,441	1,263,648	87.9	313	96.9%
関東	東京	625	3.91	491.4	2,353	1,156,378	67.4	518	82.9%	625	3.71	487.5	2,308	1,125,210	74.4	532	85.1%
九州	畜産公社	2,243	14.03	482.2	2,333	1,125,070	62.9	1,402	62.5%	2,806	16.67	481.2	2,217	1,066,637	67.4	2,283	81.4%
	二日市	4,371	27.34	487.0	2,398	1,167,640	63.3	3,526	80.7%	4,505	26.76	488.5	2,278	1,112,643	63.7	3,597	79.8%
	福岡	4,527	28.32	503.8	2,462	1,240,110	65.3	3,885	85.8%	4,389	26.07	500.0	2,355	1,177,542	68.9	3,844	87.6%
	佐世保	114	0.71	423.2	2,291	969,354	51.8	76	66.7%	106	0.63	423.2	2,286	967,421	63.2	81	76.4%
	ナンチク	719	4.50	515.9	2,398	1,237,407	53.4	495	68.8%	721	4.28	519.4	2,403	1,248,264	63.8	565	78.4%
合計	15,987	100	493.1	2,411	1,188,679	64.0	13,116	82.0%	16,834	100	492.5	2,308	1,136,698	68.0	14,129	83.9%	

※価格は税抜き

※JAさがから資料提供。

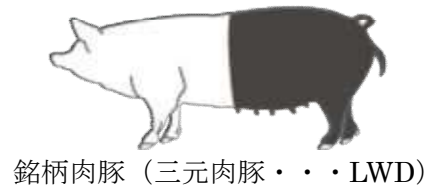
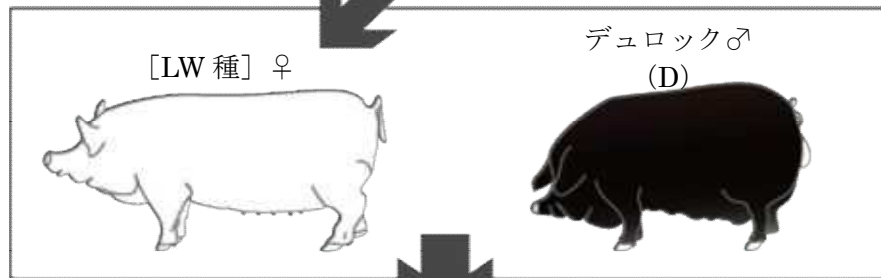
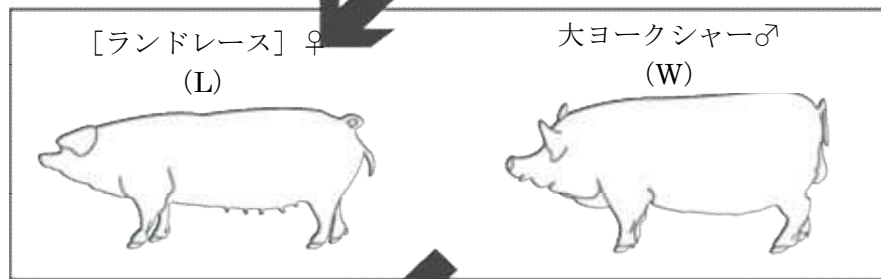
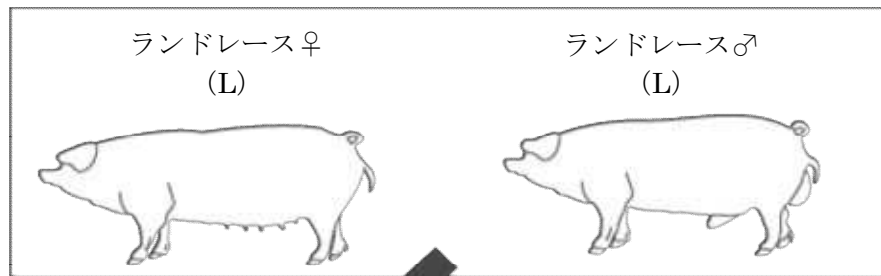
「佐賀牛」「佐賀産和牛」の輸出量推移

年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
輸出量 (t)	10.2	16.8	16.4	22.4	24.1	27.3	36.5	43.3	46.2	53.6	57.2	68.9

年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
輸出量 (t)	63.7	67.3	63.6	67.9	84.9

※佐賀県農林水産物等輸出促進協議会調べ

○「肥前さくらポーク」の概要 ～佐賀県産銘柄肉豚の生産体系～



特 徴

- ・ 限定農家から生産され、生産地が明確。
- ・ 安全性を基本とした専用飼料により生産。
- ・ 豚肉独特の臭みが少なく、肉のキメが細かく、軟らかい。
- ・ 肉色は鮮やかなさくら色。

技術

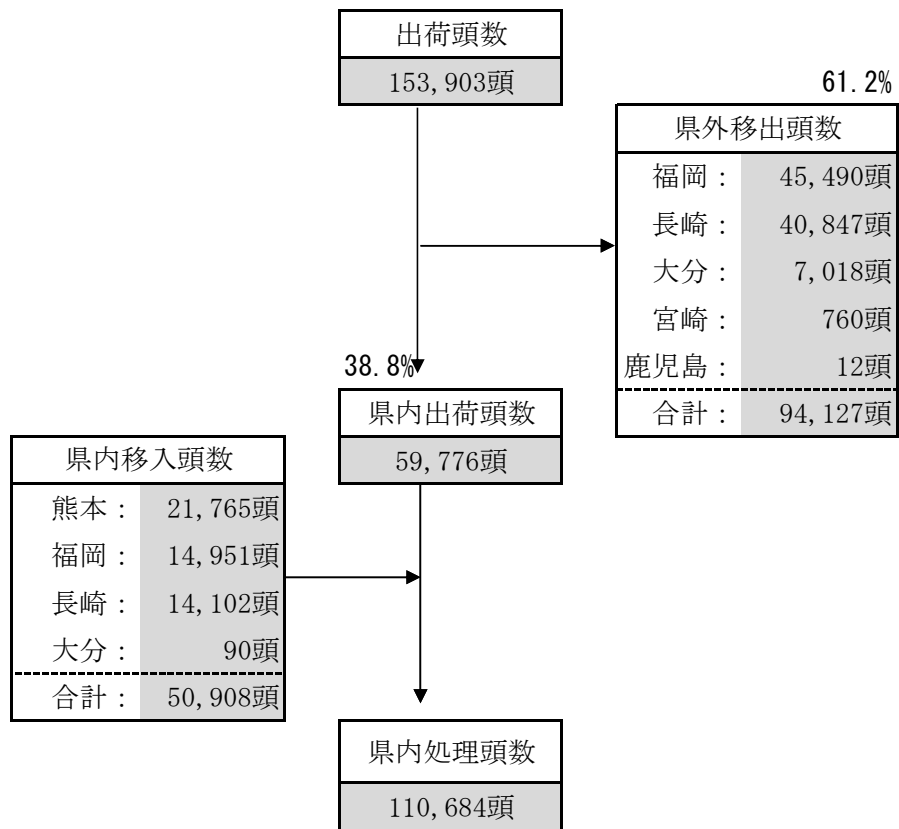
- ・ この品質の良さは、なにより農家の生産技術の高さにあり、佐賀県における「上物」の割合はおおむね **61%** となっています。
- ・ 成長に合わせて JA 養豚用飼料を給与し、豚自体が持つ消化吸収や抗病性を高め健康な発育を促し、さらに肉質や脂質の向上を図っている。

年 度	H29 年	H30 年	R 元年	R2 年	R3 年	R4 年
出荷頭数	19,444	19,124	18,770	20,390	16,721	17,875

（資料：J A さが調査 R6.6 現在）

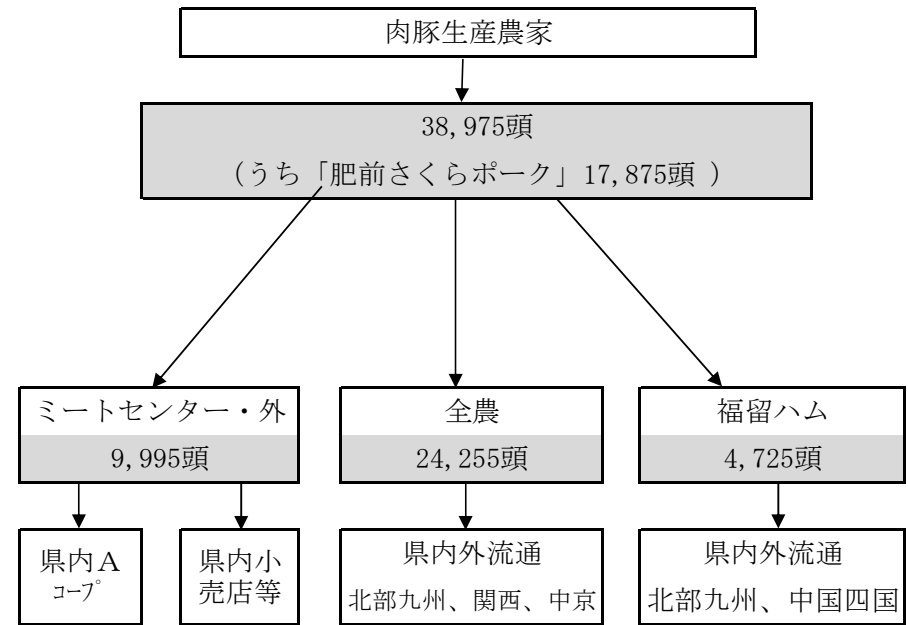
- ・ 平成 6 年度から、県経済連が銘柄肉豚「肥前さくらポーク」として販売開始
- ・ 令和 4 年度の出荷頭数は 17,875 頭で、J A グループ佐賀の肉豚総出荷頭数（38,975 頭）の 45.8% を占める。
- ・ 生産農家戸数は、J A 系統農家 9 戸中 5 戸で、肥前さくらポークの生産者には出荷奨励金の支給が行われている（令和 6 年 6 月現在）。

○ 肉豚流通図（平成21年）



(資料：農林水産省「畜産物流通統計」)
※平成22年以降公表なし

○ 肥前さくらポーク流通図（令和5年度）



(資料：JAさが調査R6.6現在)

食料自給率・供給量の推移

区分(年度)		S40	S50	S60	H7	H17	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4(概算)
肉類	自給率(%)	90	76	81	57	54	56	57	56	54	55	55	55	54	53	52	51	52	53	53	53
	1人1年当たり供給純食糧(kg)		17.9	22.9	28.5	28.5	28.5	28.6	29.1	29.6	30.0	30.1	30.2	30.7	31.6	32.7	33.3	33.4	33.5	34.0	34.0
うち牛肉	自給率(%)	95	81	72	39	43	44	43	42	40	42	41	42	40	38	36	36	35	36	36	39
	1人1年当たり供給純食糧(kg)		2.5	3.9	7.5	5.6	5.7	5.9	5.9	6.0	5.9	6.0	5.9	5.8	6.0	6.3	6.5	6.5	6.5	6.5	6.2
うち豚肉	自給率(%)	100	86	86	62	50	52	55	53	52	53	54	51	51	50	49	48	49	50	50	49
	1人1年当たり供給純食糧(kg)		7.3	9.3	10.3	12.1	11.7	11.5	11.7	11.9	11.8	11.8	11.9	12.2	12.4	12.8	12.8	12.8	12.9	13.2	13.1
うち鶏肉	自給率(%)	97	97	92	69	67	70	70	68	66	66	66	67	66	65	64	64	64	66	66	64
	1人1年当たり供給純食糧(kg)		5.3	8.4	10.1	10.5	10.8	11.0	11.3	11.4	12.0	12.0	12.2	12.6	13.0	13.4	13.7	13.9	13.9	14.4	14.6

区分(年度)		S40	S50	S60	H7	H17	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4(概算)
鶏卵	自給率(%)	100	97	98	96	94	96	96	96	95	95	95	95	96	97	96	96	96	97	94	97
	1人1年当たり供給純食糧(kg)		13.7	14.5	17.2	16.6	16.8	16.6	16.5	16.6	16.7	16.8	16.7	16.9	16.9	17.4	17.4	17.6	17.2	17.2	16.9

区分(年度)		S40	S50	S60	H7	H17	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4(概算)
牛乳・乳製品	自給率(%)	86	81	85	72	68	70	71	67	65	65	64	63	62	62	60	59	59	61	62	62
	1人1年当たり供給純食糧(kg)		53.6	70.6	91.2	91.8	86.3	84.8	86.4	88.6	89.5	89.0	89.6	91.1	91.3	93.4	95.2	95.5	92.4	94.4	93.9
うち飲用向け	自給率(%)		100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
	1人1年当たり供給純食糧(kg)		28.1	35.2	40.6	36.7	34.2	32.7	31.8	31.6	31.1	30.8	30.4	30.8	31.1	31.1	31.2	31.2	31.6	31.5	31.1
うち乳製品向け	自給率(%)		60	69	49	47	51	53	48	45	46	45	43	43	42	40	39	40	41	43	43
	1人1年当たり供給純食糧(kg)		24.8	35.0	50.4	54.9	51.8	51.9	54.5	56.8	58.2	58.0	59.0	60.2	60.0	62.1	63.8	64.0	62.0	62.8	62.7

区分(年度)		S40	S50	S60	H7	H17	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4(概算)
飼料	自給率(%)	55	34	27	26	25	26	25	25	26	26	26	27	28	27	26	25	25	25	26	26

資料:農林水産省「食料需給表」(令和5年8月7日公表)

家計調査(二人以上の世帯) 都道府県庁所在市別ランキング(令和3年～令和5年) 出典:総務省統計局「家計調査結果」

令和3年～令和5年平均の家計調査品目別データ(二人以上の世帯(1世帯当たり年間の支出金額及び購入数量))により、どのような品目でどの程度の地域差があるのかを明らかにするため、都道府県庁所在市別ランキング(川崎市、相模原市、浜松市、堺市及び北九州市を含む)を集計されたもの。(肉類)

順位	肉類 -----<金額>-----		順位	生鮮肉 -----<金額>-----		順位	牛肉 -----<金額>-----		順位	豚肉 -----<金額>-----		順位	鶏肉 -----<金額>-----		順位	合いびき肉 -----<金額>-----		順位	他の生鮮肉 -----<金額>-----	
	全国	97,296		全国	78,766		全国	22,338		全国	32,644		全国	17,615		全国	2,994		全国	3,175
1	京都市	115,301	1	京都市	97,493	1	京都市	36,937	1	新潟市	37,344	1	福岡市	22,143	1	熊本市	4,854	1	熊本市	5,591
2	大阪市	115,021	2	大阪市	96,844	2	堺市	36,254	2	福島市	37,301	2	大分市	21,831	2	長崎市	4,704	2	札幌市	5,190
3	堺市	113,233	3	奈良市	94,909	3	和歌山市	35,421	3	さいたま市	37,104	3	京都市	21,128	3	鳥取市	4,620	3	大阪市	4,799
4	奈良市	112,402	4	堺市	94,695	4	奈良市	35,264	4	東京都区部	36,541	4	鹿児島市	20,958	4	岡山市	4,588	4	山形市	4,689
5	大津市	111,844	5	和歌山市	92,556	5	神戸市	34,273	5	浜松市	36,370	5	宮崎市	20,805	5	大分市	4,529	5	北九州市	4,379
19	佐賀市	99,473	19	佐賀市	82,426	17	佐賀市	26,217	44	佐賀市	29,569	12	佐賀市	19,397	16	佐賀市	3,959	19	佐賀市	3,284

順位	生鮮肉 -----<数量: g>-----		順位	牛肉 -----<数量: g>-----		順位	豚肉 -----<数量: g>-----		順位	鶏肉 -----<数量: g>-----		順位	合いびき肉 -----<数量: g>-----		順位	他の生鮮肉 -----<数量: g>-----	
	全国	51,170		全国	6,264		全国	22,297		全国	18,120		全国	2,247		全国	1,645
1	大阪市	59,052	1	奈良市	9,282	1	新潟市	27,550	1	熊本市	22,664	1	熊本市	3,566	1	広島市	2,672
2	熊本市	57,796	2	大阪市	9,186	2	福島市	26,227	2	福岡市	22,664	2	岡山市	3,496	2	山形市	2,492
3	広島市	56,794	3	堺市	8,925	3	相模原市	25,637	3	大分市	22,387	3	鳥取市	3,445	3	仙台市	2,471
4	奈良市	56,596	4	山形市	8,846	4	静岡市	25,431	4	宮崎市	21,268	4	金沢市	3,403	4	熊本市	2,397
5	福岡市	56,276	5	松山市	8,771	5	さいたま市	25,381	5	大阪市	21,245	5	長崎市	3,377	5	札幌市	2,328
10	佐賀市	54,957	17	佐賀市	7,426	32	佐賀市	20,801	6	佐賀市	21,014	9	佐賀市	3,116	11	佐賀市	1,948

順位	加工肉 -----〈金額〉-		順位	ハム -----〈金額〉-		順位	ソーセージ -----〈金額〉-		順位	ベーコン -----〈金額〉-		順位	他の加工肉 -----〈金額〉-	
	全国	18,529		全国	4,848		全国	7,737		全国	2,649		全国	3,294
1	山形市	21,558	1	横浜市	6,186	1	青森市	9,201	1	山形市	3,566	1	那覇市	6,186
2	青森市	21,535	2	大津市	6,139	2	浜松市	9,049	2	静岡市	3,235	2	札幌市	4,905
3	相模原市	20,589	3	相模原市	5,960	3	山形市	8,907	3	相模原市	3,180	3	青森市	4,695
4	札幌市	20,545	4	東京都区部	5,756	4	富山市	8,761	4	青森市	3,080	4	仙台市	4,670
5	浜松市	20,413	5	岐阜市	5,743	5	盛岡市	8,527	5	東京都区部	3,079	5	山形市	4,417
40	佐賀市	17,047	24	佐賀市	4,914	47	佐賀市	6,786	44	佐賀市	2,324	25	佐賀市	3,023

順位	ハム -----〈数量: g〉-		順位	ソーセージ -----〈数量: g〉-		順位	ベーコン -----〈数量: g〉-	
	全国	2,513		全国	5,429		全国	1,569
1	相模原市	3,311	1	青森市	6,538	1	山形市	2,233
2	岐阜市	3,169	2	富山市	6,309	2	那覇市	2,073
3	大津市	3,105	3	山形市	6,295	3	相模原市	2,003
4	横浜市	2,950	4	浜松市	6,215	4	静岡市	1,975
5	堺市	2,858	5	札幌市	6,155	5	福島市	1,913
22	佐賀市	2,512	44	佐賀市	4,730	35	佐賀市	1,476

家計調査(二人以上の世帯) 都道府県庁所在市別ランキング(令和3年～令和5年) 出典:総務省統計局「家計調査結果」

令和3年～令和5年平均の家計調査品目別データ(二人以上の世帯(1世帯当たり年間の支出金額及び購入数量))により、どのような品目でどの程度の地域差があるのかを明らかにするため、都道府県庁所在市別ランキング(川崎市、相模原市、浜松市、堺市及び北九州市を含む)を集計されたもの。(乳卵類)

順位	乳卵類 -----<金額>-----		順位	牛乳 -----<金額>-----		順位	乳製品 -----<金額>-----		順位	ヨーグルト -----<金額>-----		順位	バター -----<金額>-----		順位	チーズ -----<金額>-----		順位	卵 -----<金額>-----	
	全国	49,499		全国	15,229		全国	23,065		全国	13,591		全国	1,289		全国	6,745		全国	11,205
1	千葉市	55,136	1	京都市	18,581	1	東京都区部	27,496	1	山形市	16,300	1	京都市	1,798	1	東京都区部	9,368	1	高知市	13,127
2	東京都区部	54,723	2	奈良市	17,272	2	さいたま市	27,277	2	盛岡市	15,968	2	東京都区部	1,720	2	さいたま市	8,604	2	鳥取市	13,121
3	神戸市	54,151	3	松江市	17,258	3	千葉市	26,464	3	福島市	15,961	3	札幌市	1,548	3	横浜市	8,219	3	奈良市	12,943
4	京都市	54,110	4	神戸市	17,190	4	水戸市	26,119	4	前橋市	15,781	4	神戸市	1,547	4	相模原市	8,185	4	神戸市	12,626
5	さいたま市	54,025	5	千葉市	17,053	5	山形市	26,116	5	千葉市	15,737	5	千葉市	1,544	5	札幌市	8,054	5	岐阜市	12,569
46	佐賀市	44,205	44	佐賀市	13,250	42	佐賀市	19,931	35	佐賀市	12,458	47	佐賀市	1,004	45	佐賀市	5,253	32	佐賀市	11,024

順位	牛乳 -----<数量:リットル>-----	
	全国	72.53
1	京都市	84.28
2	千葉市	84.23
3	神戸市	81.55
4	奈良市	79.85
5	山形市	79.77
47	佐賀市	60.88

順位	バター -----<数量: g>-----		順位	チーズ -----<数量: g>-----		順位	卵 -----<数量: g>-----	
	全国	601		全国	3,771		全国	31,524
1	京都市	834	1	東京都区部	4,829	1	鳥取市	36,905
2	東京都区部	797	2	さいたま市	4,746	2	奈良市	36,297
3	札幌市	760	3	相模原市	4,723	3	新潟市	36,066
4	横浜市	741	4	金沢市	4,602	4	和歌山市	34,810
5	相模原市	740	5	横浜市	4,500	5	富山市	34,785
47	佐賀市	456	46	佐賀市	2,963	40	佐賀市	30,092

IV 參考資料

配合飼料価格の推移について(佐賀県)

作成: 令和6年6月28日現在

○全農は令和6年7～9月期の配合飼料供給価格について、飼料情勢・外国為替情勢等を踏まえ、令和6年4～6月期に対し、全国全畜種総平均トン当たり約2,200円値上げすることを決定しました。

○とうもろこしのシカゴ定期は、3月28日の米国農務省発表の米国産とうもろこしの作付面積見通しが事前予想を下回ったことや、米国産地で降雨による作付遅延懸念などから上昇し、現在は450セント/ブッシェル前後で推移しています。今後は、南米産地の作柄や、天候などに左右される相場展開が見込まれます。

○大豆粕のシカゴ定期は、3月上旬には370ドル/トン前後でしたが、5月初旬に発生したブラジルでの洪水による生産量減少懸念などにより相場が上昇し、現在は400ドル/トン前後で推移しています。国内大豆粕価格は、シカゴ定期の上昇および為替円安の影響などから値上がりが見込まれます。

○海運については、パナマックス型海上運賃は、2月には50ドル/トン台後半で推移していましたが、中国向けの石炭輸送需要が増加したことや、中東情勢の緊迫化を受けて原油相場が高騰し3月には65ドル/トン前後まで上昇しました。その後、石炭向けが緩和したことなどから、現在は60ドル/トン前後で推移しています。

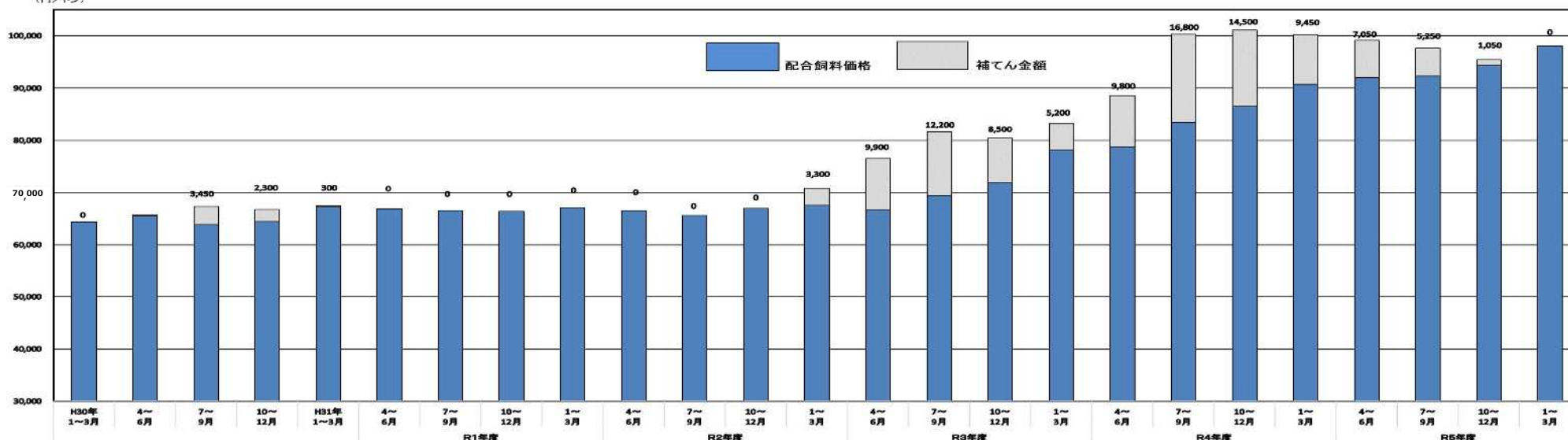
○外国為替は、日銀金融政策決定会合で金融緩和政策は維持される見通しとなったことに加え、4月10日に発表された米国の消費者物価指数が市場予想を上回り、利下げ観測が後退したことなどから円安が進み4月末には一時160円台をつけました。その後、日本の当局が為替介入を実施したものの、日米金利差が拡大した状態が継続していることなどから、現在は158円前後で推移しています。

○以上から、為替円安やシカゴ定期の上昇などによりとうもろこしや大豆粕の価格が値上がりとなることから、令和6年7～9月期の配合飼料価格は前期対比値上げとなります。

(1ブッシェル=25.4kg)

	H24年	R3年				R4年				R5年				R6年
	1～3月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
配合飼料価格	55,700	70,859	76,558	81,674	80,423	83,302	88,599	100,270	101,092	100,237	99,135	97,623	95,441	98,074
上下幅	△ 2,315	3,872	5,699	5,116	△ 1,251	2,879	5,297	11,671	822	△ 855	△ 1,102	△ 1,512	△ 2,182	2,633
農家負担額(推計)	55,700	67,559	66,658	69,474	71,923	78,102	78,799	83,470	86,592	90,787	92,085	92,373	94,391	98,074
上下幅	△ 215	572	△ 901	2,816	2,449	6,179	697	4,671	3,122	4,195	1,298	288	2,018	3,683
補てん額	0	3,300	9,900	12,200	8,500	5,200	9,800	16,800	14,500	9,450	7,050	5,250	1,050	0

(円/トン)



○高病原性鳥インフルエンザとは

1. 原因（病原体）・・・ 鳥インフルエンザウイルスのうち高病原性のもの
(*Orthomyxoviridae Influenza virus A*)
2. 感受性動物・・・ 鶏、あひる、七面鳥、うずら等
3. 症 状・・・ 神経症状（首曲がり、沈うつ等）、呼吸器症状、消化器
症状（下痢、食欲減退等）、高い死亡率が主な症状
4. 潜伏期間・・・ 2～6日
5. 伝播様式・・・ 空気及び接触感染
6. 発生状況
(1) 国 内
1925年（大正14年）
奈良県、千葉県、東京府（当時）
2003年度（平成15年度）：3県4事例 約41万羽 殺処分
山口県、大分県、京都府
2005年度（平成17年度）：2県41事例（低病原性）約578万羽 殺処分
茨城県、埼玉県
2006年度（平成18年度）：2県4事例 約17万羽 殺処分
宮崎県、岡山県
2009年度（平成20年度）：1県7事例（低病原性）約160万羽 殺処分
愛知県
2010年度（平成22年度）：9県24事例 約183万羽 殺処分
島根県、愛知県、宮崎県、鹿児島県、三重県、奈良県、和歌山県、
大分県、千葉県
2014年度（平成26年度）：5県6事例 約46.4万羽 殺処分
熊本県、宮崎県、山口県、岡山県、佐賀県
2016年度（平成28年度）：9県12事例 約166.7万羽 殺処分
青森県、新潟県、北海道、宮崎県、熊本県、岐阜県、佐賀県、宮城県、
千葉県

- 2017年度（平成29年度）：1県1事例 約9.1万羽 殺処分
香川県
- 2020年度（令和2年度）：18県52事例 約987万羽 殺処分
香川県、福岡県、兵庫県、宮崎県、奈良県、広島県、大分県、和歌山県、
岡山県、滋賀県、高知県、徳島県、千葉県、岐阜県、鹿児島県、富山県、
茨城県、栃木県
- 2021年度（令和3年度）：12道県25事例 約189万羽 殺処分
秋田県、鹿児島県、兵庫県、熊本県、千葉県、埼玉県、広島県、青森県、
愛媛県、岩手県、宮城県、北海道
- 2022年度（令和4年度）：26道県84事例 約1,771万羽 殺処分
岡山県、北海道、香川県、茨城県、和歌山県、兵庫県、鹿児島県、新潟県、
宮崎県、青森県、宮城県、千葉県、福島県、鳥取県、愛知県、佐賀県、
山形県、広島県、沖縄県、埼玉県、福岡県、長崎県、群馬県、大分県、
滋賀県、岩手県
- 2023年度（令和5年度）：10県11事例 約85.6万羽 殺処分
佐賀県、茨城県、埼玉県、鹿児島県、群馬県、岐阜県、山口県、香川県、
広島県、千葉県

- (2) 外 国 アジア、欧州、アフリカ等
(東南アジア、中東及び中国では、人への感染の報告あり)

7. 診断法
(1) 臓器、糞便からのウイルス分離を行う。
(2) 血清学的検査で抗体の確認を行う。
8. 予防法・・・ 鶏用のワクチンは一部の国で限定的に使用。
9. 治療法
(1) なし。
(2) 発生した場合は、摘発・淘汰によりまん延を防止する。

○ 口蹄疫とは

1. 原因（病原体）・・・ 口蹄疫ウイルス（Foot-and-mouth disease virus）
2. 感受性動物・・・ 偶蹄類の動物
（牛、水牛、めん羊、山羊、豚、鹿、いのしし）
3. 症状・・・ 突然 40～41℃の発熱、元気消失に陥ると同時に多量の流涎（よだれ）がみられ、口、蹄、乳頭等に水泡を形成し、食欲不振、跛行（足をひきずる）を呈する。乳用牛の場合には泌乳量が低下し、肉用家畜の場合は肥育効率が低下する等家畜の経済能力が著しく低下する。人に感染することはない。
4. 潜伏期間・・・ 2～14日
5. 伝播様式・・・ 感染動物との接触（飛沫感染）、感染動物の生産物、汚染物品により伝播
6. 発生状況
（1）国内
1908年（明治41年）東京、神奈川、兵庫、新潟 計522頭
2000年（平成12年）3、4月 宮崎県2戸20頭（疑似患者35頭）
5月 北海道1戸2頭（疑似患者705頭）
2010年（平成22年）4月～7月 宮崎県292戸 211,608頭

（2）外国 アジア、アフリカ、南米 他
7. 診断法
（1）血清学的検査により抗体の確認を行う。
（2）水泡材料から、ウイルス分離を行うとともに、抗原検出ELISA法、PCR検査によりウイルス遺伝子等を確認する。
8. 予防法・・・ 不活化ワクチンが用いられているが、現在は発症家畜の淘汰による清浄化の推進が中心となりつつある。
我が国では厳重な検疫を実施（発生源からの畜産物等の輸入禁止措置等）している。
9. 治療法
（1）なし。
（2）発生した場合は、家畜伝染病予防法に基づき、まん延防止のため家畜の所有者による殺処分等の対象とされる。

○ 牛海綿状脳症（BSE）とは

1. 原因（病原体）・・・ 異常プリオン（タンパク質の一種）
2. 感染・・・ BSEに感染した牛の脳、脊髄、リンパ組織等を含む飼料の摂取により、経口感染する。
3. 感受性動物・・・ 牛、水牛
4. 症状・・・ 2年以上の長い潜伏期間の後、行動異常、運動失調などの神経症状を呈し、発病後2週間から6ヶ月の経過で死に至る。
中枢神経、特に延髄、橋及び中脳の神経細胞の原形質に空胞を形成し、基質に海綿状を呈する。
5. 発生状況
（1）国内・・・我が国で乳用種32頭、黒毛和種4頭の発生。
（2）外国・・・英国（グレート・ブリテン）において1986年に最初の発生が報告され、1992年から93年にピークとなった。
その後、EU諸国で発生が認められている。
6. 診断法
・歩行異常等の神経症状を確認する。
・脳を顕微鏡検査により確認する。
・脳からプリオンの検出を行う。
7. 予防法
（1）動物検疫による発生源からの畜産物等の輸入禁止措置等の等の実施。
（2）家畜伝染病予防法に基づく法定伝染病とされており、発生時の届出による発生状況の迅速な把握。
（3）反すう動物を原料とした飼料及びペットフードを牛に給与しない。
8. 治療法
（1）なし
（2）発生した場合、患者及び疑似患者は伝達性海綿状脳症として家畜伝染病予防法に基づき、殺処分等の対象とされる。

○ 豚熱（CSF：Classical swine fever）とは

1. 原因（病原体）・・・CSFウイルス（Classical swine fever virus）
2. 感受性動物・・・豚、イノシシ
3. 症 状・・・ウイルスの株や豚の月齢・状態により、極めて多様な病原性を示す。特定症状に挙げられているものには、紫斑、高熱、結膜炎、後駆麻痺、発育不良、血液凝固不全、流死産、白血球数減少、死亡頭数増加等がある。
4. 潜伏期間・・・2～6日（急性型）
5. 伝播様式・・・感染動物との直接接触（経口・経鼻）、汚染された器具、人との接触による。豚肉製品中に長期間存在しているので、厨芥、残飯が伝播源として重要。
6. 発生状況
 - （1）国内
2018年（平成30年）9月、岐阜県で26年ぶりに発生。
令和6年5月現在で、21都府県・計92事例で発生している。
 - （2）外国
北米、オーストラリア、スウェーデンなどでは清浄化。
7. 診断方法
 - （1）血清学的検査（抗体の検出）
 - （2）扁桃、脾臓等を用いた抗原検査（ウイルス分離検査、PCR検査及び蛍光抗体法）
8. 予防方法
飼養衛生管理基準の遵守による病原体の農場内侵入防止が原則。ただし農林水産大臣が推奨する地域では、都道府県知事の命令でワクチンが使用され、令和6年5月現在で北海道を除く都府県でワクチンを接種している。
9. 治療方法
 - （1）なし
 - （2）家畜伝染病予防法により、発生時には、まん延防止を目的とした家畜の所有者による殺処分の対象とされている。

○ ヨーネ病とは

1. 原因（病原体）・・・ヨーネ菌
Mycobacterium avium subspecies *paratuberculosis*
2. 感受性動物・・・牛、水牛、鹿、めん羊、山羊
3. 症 状・・・多くは不顕性感染だが、分娩1ヶ月以内に発症することが多い。
1～2週間を周期とする間欠性の下痢、急激な消瘦、泌乳停止。下痢は難治性で、大部分では消瘦し、衰弱死する。
4. 伝播様式・・・主に感染した動物の糞便に汚染された乳汁、飼料又は飲水を介し、経口感染する。重症例では、胎盤感染も成立する。
5. 発生状況
 - （1）国内
1930年に初めて、輸入牛で確認されたが、1980年以降から、徐々に国産牛での発生が増加している。
 - （2）外国
北米、ヨーロッパ諸国、オーストラリアでも発生し、重要損耗疾病として注目されている。
6. 診断方法
 - （1）血清学的検査（抗体の検出）や遺伝子学的検査（リアルタイムPCR法）
 - （2）免疫学的検査では、遅延型過敏反応を検出するヨーニン反応がある。
 - （3）糞便から直接菌を確認する方法（抗酸菌染色）と、糞便、腸管、腸間膜リンパ節を用いた菌分離を行う。
7. 予防方法
有効なワクチン等はない。
感染牛の早期摘発・淘汰及び汚染物品の消石灰等による徹底的な消毒による。
8. 治療方法
 - （1）なし
 - （2）家畜伝染病予防法により、発生時には、まん延防止を目的とした家畜の所有者による殺処分の対象とされている。

○ 牛伝染性リンパ腫とは

1. 原因（病原体）・・・牛伝染性リンパ腫ウイルス（Bovine leukemia virus)
2. 感受性動物・・・牛、水牛
3. 症 状・・・地方病型、子牛型、胸腺型、皮膚型があり、地方病型が最も多い。不顕性感染が多く、発症した場合は消瘦、元気消失、食欲不振、眼球突出、下痢等や体表リンパ節の腫大等がみられる。子牛型、胸腺型（胸腺の腫大）、皮膚型（皮膚の限局性腫瘍）は散発している。
4. 潜 伏 期 間・・・数ヶ月から数年
5. 伝 播 様 式・・・水平伝播と垂直伝播が主で、水平伝播には、吸血昆虫によるもののほか、除角器、削蹄鎌、注射針又は直腸検査用手袋等の連続使用がある。
垂直感染には、子宮内（産道）感染がある。
6. 発 生 状 況
 - (1) 国内
1927年に初めて発生して以来、全国にまん延している。
 - (2) 外国
北米、南米大陸、オーストラリア、アジア、ヨーロッパ、ロシアなど多くの国に分布している。
7. 診断方法
 - (1) 血清学的検査（抗体の検出）
 - (2) 遺伝子学的検査
 - (3) 病理組織学的検査
8. 予 防 方 法
有効なワクチン等はない。
感染牛の早期摘発・淘汰と非感染農場からの導入。
9. 治 療 方 法
 - (1) なし
 - (2) 発生した場合には、発生場所の消毒、感染牛の淘汰などが望ましい。